

# 「質問続け挑戦を」

東大大学院  
酒井助教授

「ことばの科学」講演

鳥取市尚徳町の県民文化会館で17日、「ことばの科学」脳はどのようなことを生み出すか」をテーマに酒井邦嘉・東大大学院助教授(43)が講演した。酒井助教授は物理学を専攻していた大学生の頃、物理学者で文学者でもあった寺田寅彦氏の「自分の専門以外のこと

を知らなかったために回り道をしてつまらぬ損をするのは少なくない。決してフィールドを狭めてはならない」という言葉で言語学に挑戦したと話し、「広くアンテナを張って」と呼びかけた。県内の高校生約100人が聴講した講演の最後、酒井助教授が「大切なのは質問するのをやめないということ」というアインシュタインの言葉を紹介。高校生たちが質問するためにつくった列が1時間近く続いた。

後、酒井先生のように全く違う分野に挑戦するのも良いかな。同校1年の乾楓さん(16)は「10年後は薬剤師の仕事に就いていたいけど、薬剤師以外のことも広く浅く知っていたいと思った」。同校2年の北尾拓也さん(17)は「物理学の研究者になりたい。今は燃料電池の仕組みにも興味がある。脳の働きについてたくさん疑問がわいてきた」と話していた。

# 若者らが将来を展望

平成基礎科学財団が青少年の理科離れをくい止めようと全国で科学教室を開いており、ノーベル物



講演後、酒井邦嘉助教授に質問するため列をつくる高校生たち。県民文化会館で